

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	コロナ禍ということもあるが、利用者の行きたいところに出かけることができない。	回数はそれほど多くなくても、行きたいところにお出かけできる環境を整える。	まずは利用者に行きたいところの希望を取り、実現可能な方法を検討し、実施する。	6ヶ月
2	2	コロナ禍ということもあり、ボランティアや学生、実習生の受け入れが難しく、地域とのつながりを保つために地域に出て行く必要がある。	職員、利用者とも地域と交流が図られるよう、職員の方から働きかけていく。	近隣の地域で行われている行事などに職員がボランティアとして参加し、利用者も招くことで、地域とつながりが持てるよう働きかけていく。	12ヶ月
3	15	コロナ禍で家族の面会が思うようにいかず、家族や知人との関わりが疎遠になりがちである。	コロナの収束を待つだけでなく、コロナであっても面会などが実現できるよう環境を整えていく。	オンライン面会の環境が整い、家族にお知らせを送ったところ。今後家族だけでなく、遠くの親せき、知人なども面会ができないか、安全面に考慮しながら拡充を図っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。